

2016年 12月13日

株式会社 みずほ銀行
頭取
林信秀様

株式会社 住友三井銀行
頭取
國部毅様

株式会社 三菱東京UFJ銀行
頭取
小山田隆様

ダコタ・アクセス・パイプライン建設計画に関する要請書

スタンディングロック・スー族代表のデーブ・アーシャンボルト2世

御社が関わるダコタアクセスパイプライン計画に関して打ち合わせをお願いしたく、スタンディングロック・スー族のチェアマン（代表）としてこの文章を書かせていただきました。私の理解によれば、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、住友三井銀行は同パイプライン・プロジェクトに対して融資を行っている17社のうちに含まれます。

もともとパイプラインのルートは二つ考えられていました。ビズマークを通る北のルートと私たちの居留地のそばを通る南のルートの二つです。

南のルートに決まった理由としては、北のルートの建設ではビズマークの住民の水源の安全性を脅かす可能性があったからなのです。しかし、私の一族の懸念に対応してくれるということはいっさいありませんでした。1万人以上の原住民族の人々と我々の活動を支援する人々がキャンボール川沿いに集まり、世界中の数百万人の人々からも多大なサポートと団結を受けています。

パイプラインの建設事業に最も関わっているエナジー・トランスファー・パートナーズ社はアメリカ政府の発表に反した内容を発言しています。2016年12月4日にアメリカ陸軍工兵司令部は、建設を完了させるための通行権を許可しませんでした。それと同時に私の一族が納得する代替ルートを調査すると発表しましたが、エナジー・トランスファー・パートナーズ社は「ルートを変える事無く建設を完了させる」と言っています。私たちの祈りやスピーチ、集会への警察の圧力は以前と変わることなく、むしろ高まり続けています。

私の理解するところでは貴社はエクエーター原則協会の加盟社です。これは、融資先プロジェクトが自然環境や地域社会に与える影響に十分配慮して実施されることを確認すると意味します。エナジー・トランスファー・パートナーズ社は私の一族を始め、このパイプラインのルート付近に住む住民のサポートを得ておらず、ルートリスクを開示しませんでした。これはエクエーター原則に反することになります。

私たち一族の懸念は以下の通りです。

* 私たちの飲料水に与える影響。パイプラインは環境的に見て危険性に満ちていますが、こ

の危険な業界で特にエネルギー・トランスファー・パートナーズは危険な会社です。アメリカ政府のデータに基づいて行ったロイターの分析によると、エナジートランスファー社は最低な石油流出記録があり、Sustainalytics社の北米石油会社の環境対策と実践の調査によると、最下位に位置します。全国法律家ギルドによると、エネルギー・トランスファー・パートナーズ社とその関連会社は「環境法を違反する行為の長い歴史があり、メチルtert-ブチルエーテル(MTBE)による地下水汚染に関する係争中の起訴がニュージャージー州、バーモント州、ペンシルベニア州、プエルトリコとルイジアナ州のブラックスプリッジ市からあります。また、パイプラインや施設から流出された危険物に関する引証がハイオ州、オクラホマ州、ルイジアナ州、ミズーリ州、テキサス州、ペンシルベニア州、ハワイ州からでています。

* 私たちの条約権の侵害。北アメリカ連邦法は北米先住民族の人々と「意義あるコンサルテーション」を必要とします。エネルギー・トランスファー・パートナーズ社が行った「コンサルテーション」は不親切で無礼でありにも急速に行われました。私たちはコンサルテーションを受けなかったのです。エナジートランスファー社の計画は告知されたが、それに私たちは応答しなかった事という言い分は全く正しくありません。私たちには懸念を訴えていたオーディオと証拠書類があります。それを露骨にも無視してきたのです。

* 私たちの人権の侵害。エクエーター原則にはビジネスと人権に関する国連フレームワークに基いて、人権に正当な注意を与えるデューデリジェンスを行うことを必要不可欠とすると書いてあります。私たち一族は逮捕され、牢屋に閉じ込められ、催涙ガスをまかれ、ゴム弾の標的になり、犬に噛まれ、氷点下を下回る場所で放水砲に攻撃され、脳しんとうを起こすためのグレネードで暴力されています。私たちはこのような虐待の動画記録を持っています。

* 自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意の欠如。エクエーター原則にはプロジェクトを実行するのに先住民族の人々から「自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意」を必要条件としている。このパイプラインの建設にあたって、自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意も、それに近いものも与えていません。アメリカ合衆国が著名した「先住民族の権利に関する国連連合宣言」にも自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意は奉られています。

* 私たちの聖地に与える影響。パイプラインは私たちの聖地を避けるようなルートに変更されていません。これはエネルギー・トランスファー・パートナーズ社の主張に反しています。そして、エネルギー・トランスファー・パートナーズ社の従業員は意図的に私たちの墓地を荒らしました。1000人以上の文化人類学者、考古学者、キュレーター、博物館や美術館の幹部や学者の方々は聖地、墓地、祈りの場所を始めとする文化遺産の破壊を非難する手紙に署名しています。

私たちの懸念に関する貴社の質問を解くため、またこのパイプラインプロジェクトの代替案を共に考えるためのミーティングを求めて、私はこれを書いています。おそらくエネルギー・トランスファー・パートナーズ社にはこの問題についてお話になった事でしょう。私は貴社が同プロジェクトに関する全ての話と、私たち一族の主張を聞く必要があると思います。緊急事態ということもあり、2017年1月10日までにご連絡をください。私はエネルギー・トランスファー・パートナーズ社が引き起こす残虐な人権侵害に貴社が関わる事など

貴社は思いもしなかったと思います。しかし、この事について黙秘を続ける事によって、残酷な人権侵害に関わる事になります。

【ご連絡先】

First Peoples Worldwide
担当 : Nick Pelosi
Corporate Engagement Director
877 Leeland Road
Fredericksburg, VA, 22405
Phone: (540) 899-6545
Fax: (540) 899-6501
npelosi@firstpeoples.org
www.firstpeoples.org